

# はがき一枚からできる ボランティア



ボランティア・地域活動支援系のふれあい通信“かんがり”が  
お預かりし、宛名を書いて投函します。

今年もみなさんのあたたかな心のこもった暑中見舞いの「はがき」をお待ちしております。

**※「はがき」の送付方法など、詳しくは裏面をご覧ください。**

このボランティア活動は、ふれあい通信“かんがり”と言います。

ふれあい通信“かんがり”は、ご希望いただいたひとり暮らし高齢者や区内高齢者施設を利用している人へ暑中見舞い・年賀状を贈るボランティア活動です。

昨年度も、皆様のあたたかい心のこもったたくさんの暑中見舞いが集まりました。

“かんがり”とは、港区出身の荻原井泉水(俳人)さんが著書の中で、日の出の色を「くほんのり」というよりもっと明るく、〈こんがり〉というほど熱くはない、東の空に赤みのかかるその微妙な色合いを“かんがり”という新語で表現しました。

この活動を始めた時、その言葉の意味が「温度」・「明るさ」・「距離」をも伝えられる言葉と感じ、ふれあい通信“かんがり”と名付けました。

たくさんのボランティアに支えられているこの活動に、  
あなたも参加してみませんか。

※「はがき」の送付は、港区社会福祉協議会に希望の申し出をされた方へのみ送付します。

# ◆令和8年度暑中見舞い「はがき」ボランティア◆

- ① 暑中見舞い用の「はがき」または切手(85円)を貼った「はがき」を使用してください。  
(宛名面にお便りを書くハガキは使わないでください)
- ② 宛名面には何も書かないでください。  
(後日、「かんがり」の説明の印刷や、ボランティアによる宛名書きを行う為)
- ③ お便りを書く面に、夏のあいさつと、メッセージやイラスト等を書いてください。  
※ あなたのお名前は書いて頂いても結構ですが住所は書かないでください。  
※ 文章は手書きの方が喜ばれますが、印刷等でもかまいません。

## 【書き方例】



- ④ 完成した「はがき」をあなたの住所・氏名を明記した封筒に入れて、下記へお送りください。

**7月3日(金) 必着**

### 【宛先】

〒106-0032 港区六本木5-16-45 港区麻布地区総合支所2階  
港区社会福祉協議会 ボランティア・地域活動支援係  
(みなとボランティアセンター)  
「かんがり」担当

※受領証が必要な場合は、その旨お知らせください。

【問い合わせ】 ボランティア・地域活動支援係 (みなとボランティアセンター)  
“かんがり”担当  
電話 (6230) 0284 FAX (6230) 0285